

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成24年4月20日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	CEO兼執行役会長 岩崎 俊博
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁 連絡場所 東京都中央区日本橋一丁目12番1号
【電話番号】	03-3241-9511
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券に係るファンドの名称】	小型ブルーチップオープン
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券の金額】	継続募集額(平成23年10月22日から平成24年10月19日まで) 1兆円を上限とする。 *なお、継続申込期間（以下「申込期間」といいます。）は、 上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって 更新されます。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、平成23年10月21日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報により訂正するため、また「第二部 ファンド情報」および「第三部 委託会社等の情報」に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(3)ファンドの仕組み

（前略）

委託会社の概況

委託会社

（前略）

・資本金の額

平成23年9月末現在、17,180百万円

・会社の沿革

（中略）

・大株主の状況(平成23年9月末現在)

（以下略）

<訂正後>

(3)ファンドの仕組み

（前略）

委託会社の概況

委託会社

（前略）

・資本金の額

平成24年3月末現在、17,180百万円

・会社の沿革

（中略）

・大株主の状況(平成24年3月末現在)

（以下略）

2 投資方針

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(3) 運用体制

(前略)

ファンドの運用体制等は平成23年10月21日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

(3) 運用体制

(前略)

ファンドの運用体制等は平成24年4月20日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3 投資リスク

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(前略)

委託会社におけるリスクマネジメント体制

(中略)

投資リスクに関する管理体制等は平成23年10月21日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

(前略)

委託会社におけるリスクマネジメント体制

(中略)

投資リスクに関する管理体制等は平成24年4月20日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

4 手数料等及び税金

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(5) 課税上の取扱い

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

<収益分配金に対する課税>

平成25年12月31日までの間は、分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、10%（所得税7%および地方税3%）の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税（配当控除の適用があります。）のいずれかを選択することもできます。上記10%の税率は平成26年1月1日からは、20%（所得税15%および地方税

5%)となる予定です。

<換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対する課税>

平成25年12月31日までの間は、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により10%（所得税7%および地方税3%）の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は10%の税率により源泉徴収が行なわれます。上記10%の税率は平成26年1月1日からは、20%（所得税15%および地方税5%）となる予定です。

[譲渡損失と収益分配金との間の損益通算について]

換金（解約）時および償還時の差損（譲渡損失）については、確定申告等により上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との通算が可能です。

法人の投資家に対する課税

平成25年12月31日までの間は、分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の個別元本超過額については、7%（所得税7%）の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。上記7%の税率は平成26年1月1日からは、15%（所得税15%）となる予定です。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

なお、原則として、益金不算入制度の適用が可能です。

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金（解約）時および償還時の課税について

[個人の投資家の場合]

換金（解約）時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。換金（解約）時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金（解約）時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象（配当所得）となります。なお、買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

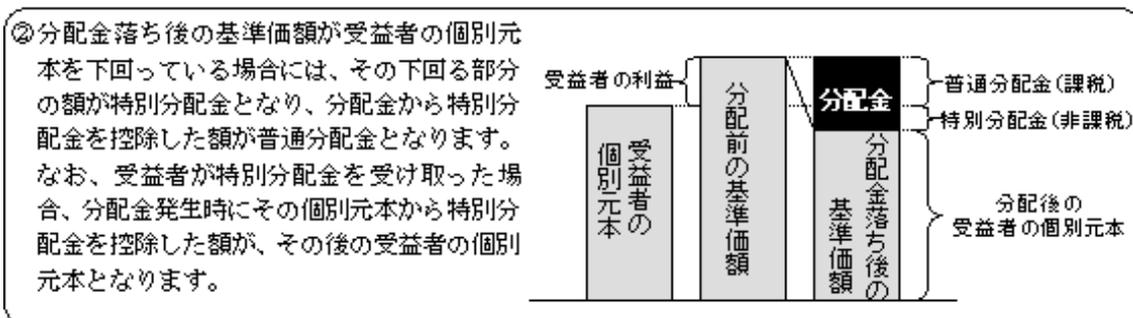
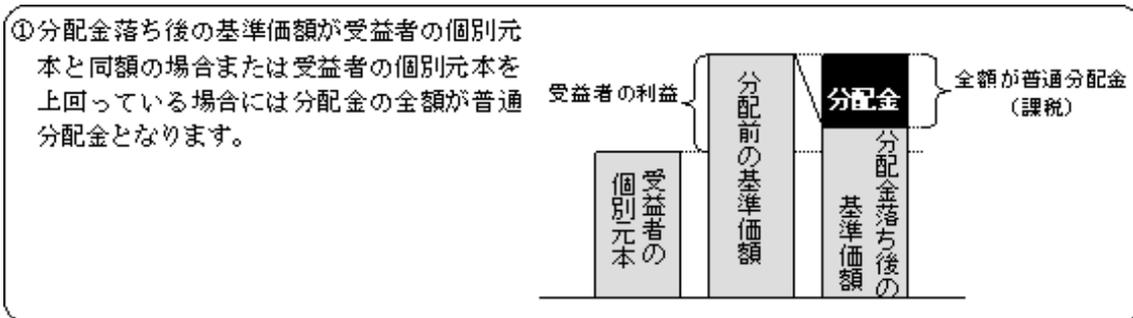
個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が特別分配金を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

（ご参考）

お客様に直接ご負担いただく費用・税金

時期	項目	費用	税金
買付時	申込手数料	3.15%（税抜3.0%）以内 ¹	消費税等相当額
換金時 （解約請求制）	信託財産留保額	0.5% ²	

¹ 基準価額に、3.15%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

² 基準価額に0.5%を乗じて得た額とします。

時期	項目	費用	税金
分配時	所得税および地方税		普通分配金×10% ¹
換金時 （解約請求制）	所得税および地方税		換金時の差益（譲渡益） ² に対して10% ¹
償還時	所得税および地方税		償還時の差益（譲渡益） ² に対して10% ¹

¹ 個人の投資家の場合の税率です。法人の投資家の場合には税率等が異なります。詳しくは前述の「法人の投資家に対する課税」をご覧ください。

² 詳しくは前述の「換金（解約）時および償還時の課税について」をご覧ください。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容が変更になる場合があります。

<訂正後>

(5) 課税上の取扱い

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

< 収益分配金に対する課税 >

[平成24年12月31日までの間]

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、10%（所得税7%および地方税3%）の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税（配当控除の適用があります。）のいずれかを選択することもできます。

[平成25年1月1日から平成25年12月31日までの間]

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、10.147%（所得税7.147%および地方税3%）の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税（配当控除の適用があります。）のいずれかを選択することもできます。上記10.147%の税率は平成26年1月1日以後、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）となる予定です。

< 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対する課税 >

[平成24年12月31日までの間]

換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により10%（所得税7%および地方税3%）の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は10%の税率により源泉徴収が行なわれます。

[平成25年1月1日から平成25年12月31日までの間]

換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により10.147%（所得税7.147%および地方税3%）の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は10.147%の税率により源泉徴収が行なわれます。なお、上記10.147%の税率は平成26年1月1日以後、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）となる予定です。

[譲渡損失と収益分配金との間の損益通算について]

換金（解約）時および償還時の差損（譲渡損失）については、確定申告等により上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との通算が可能です。

法人の投資家に対する課税

[平成24年12月31日までの間]

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の個別元本超過額については、7%（所得税7%）の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

[平成25年1月1日から平成25年12月31日までの間]

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の個別元本超過額については、7.147%（所得税7.147%）の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。上記7.147%の税率は平成26年1月1日以後、15.315%（所得税15.315%）となる予定です。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

なお、原則として、益金不算入制度の適用が可能です。

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金（解約）時および償還時の課税について

[個人の投資家の場合]

換金（解約）時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金（解約）時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金（解約）時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象（配当所得）となります。

なお、買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

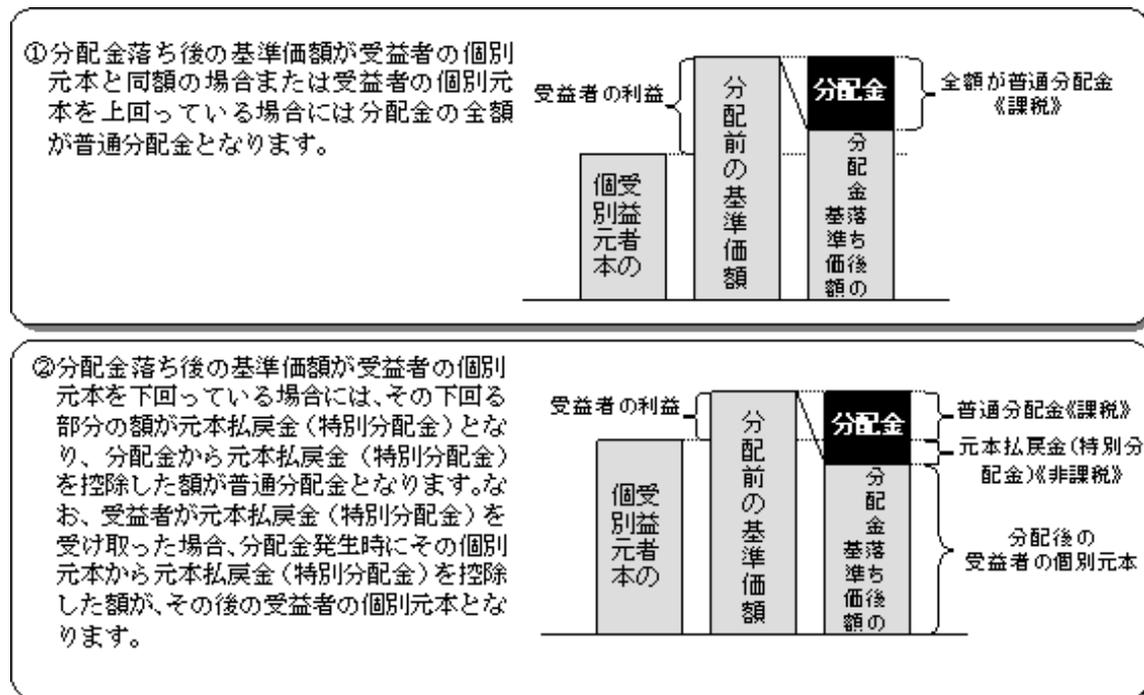
個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

(ご参考)

お客様に直接ご負担いただく費用・税金

時期	項目	費用	税金
買付時	申込手数料	3.15%（税抜3.0%）以内 ¹	消費税等相当額

換金時 (解約請求制)	信託財産留保額	0.5% ²	
----------------	---------	-------------------	--

1 基準価額に、3.15%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

2 基準価額に0.5%を乗じて得た額とします。

時期	項目	費用	税金
分配時	所得税および地方税		普通分配金×10% ¹
換金時 (解約請求制)	所得税および地方税		換金時の差益(譲渡益) ² に対して10% ¹
償還時	所得税および地方税		償還時の差益(譲渡益) ² に対して10% ¹

1 個人の投資家の場合の税率です。法人の投資家の場合には税率等が異なります。詳しくは前述の「法人の投資家に対する課税」をご覧ください。

平成25年1月1日から平成25年12月31日までの間は10.147%、平成26年1月1日以後は20.315%となる予定です。

2 詳しくは前述の「換金（解約）時および償還時の課税について」をご覧ください。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容が変更になる場合があります。

5 運用状況

原届出書の 第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

以下は平成24年2月29日現在の運用状況であります。
また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	13,832,376,668	99.79
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		28,240,713	0.20
合計(純資産総額)		13,860,617,381	100.00

<ご参考>

「小型ブルーチップオープン マザーファンド」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	25,212,700,980	98.35
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		422,061,468	1.64
合計(純資産総額)		25,634,762,448	100.00

(2)投資資産

投資有価証券の主要銘柄

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	日本	投資信託受益証券	小型ブルーチップオープン マザーファンド	12,479,589,199	0.9883	12,333,578,006	1.1084	13,832,376,668	99.79

<ご参考>

「小型ブルーチップオープン マザーファンド」

順位	国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	日本	株式	T & Dホールディングス	保険業	772,600	877.92	678,281,091	949.00	733,197,400	2.86
2	日本	株式	N K S Jホールディングス	保険業	365,200	1,634.33	596,859,362	1,906.00	696,071,200	2.71
3	日本	株式	三菱マテリアル	非鉄金属	2,440,000	215.92	526,846,330	262.00	639,280,000	2.49
4	日本	株式	住友化学	化学	1,796,000	310.23	557,186,791	352.00	632,192,000	2.46
5	日本	株式	スタンレー電気	電気機器	439,700	1,140.00	501,259,399	1,377.00	605,466,900	2.36
6	日本	株式	東京建物	不動産業	1,751,000	251.21	439,872,180	331.00	579,581,000	2.26
7	日本	株式	アルプス電気	電気機器	795,700	605.53	481,824,353	727.00	578,473,900	2.25
8	日本	株式	三井金属鉱業	非鉄金属	2,318,000	222.76	516,365,216	246.00	570,228,000	2.22
9	日本	株式	D I C	化学	3,380,000	141.21	477,296,030	167.00	564,460,000	2.20
10	日本	株式	北海道電力	電気・ガス業	443,000	1,186.88	525,788,173	1,201.00	532,043,000	2.07
11	日本	株式	双日	卸売業	3,388,200	145.11	491,663,731	151.00	511,618,200	1.99
12	日本	株式	日本製紙グループ本社	パルプ・紙	292,000	1,798.19	525,072,121	1,743.00	508,956,000	1.98
13	日本	株式	住友電気工業	非鉄金属	426,900	945.03	403,434,777	1,057.00	451,233,300	1.76
14	日本	株式	ゴールドクレスト	不動産業	280,800	1,441.85	404,872,127	1,572.00	441,417,600	1.72
15	日本	株式	りそなホールディングス	銀行業	1,065,700	371.29	395,688,099	389.00	414,557,300	1.61
16	日本	株式	住友金属工業	鉄鋼	2,392,000	165.39	395,630,816	169.00	404,248,000	1.57
17	日本	株式	T D K	電気機器	91,200	3,463.24	315,847,689	4,240.00	386,688,000	1.50
18	日本	株式	エヌ・ティ・ティ都市開発	不動産業	5,777	61,764.00	356,810,630	65,200.00	376,660,400	1.46
19	日本	株式	昭和電工	化学	1,997,000	164.00	327,508,000	184.00	367,448,000	1.43
20	日本	株式	丸紅	卸売業	592,000	502.55	297,513,528	581.00	343,952,000	1.34
21	日本	株式	ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	183,600	1,589.53	291,837,839	1,751.00	321,483,600	1.25
22	日本	株式	大和工業	鉄鋼	125,000	2,010.87	251,359,389	2,558.00	319,750,000	1.24
23	日本	株式	太陽誘電	電気機器	374,900	623.06	233,588,154	844.00	316,415,600	1.23
24	日本	株式	日本精機	輸送用機器	295,000	931.06	274,663,445	1,035.00	305,325,000	1.19
25	日本	株式	ミネベア	電気機器	795,000	333.60	265,219,196	381.00	302,895,000	1.18
26	日本	株式	電源開発	電気・ガス業	143,200	2,023.92	289,825,404	2,077.00	297,426,400	1.16
27	日本	株式	ファーストリテイリング	小売業	17,400	14,230.40	247,609,072	16,830.00	292,842,000	1.14
28	日本	株式	住友金属鉱山	非鉄金属	237,000	1,086.74	257,559,158	1,205.00	285,585,000	1.11
29	日本	株式	住友軽金属工業	非鉄金属	3,205,000	68.89	220,810,558	84.00	269,220,000	1.05
30	日本	株式	A O Cホールディングス	石油・石炭製品	482,300	592.87	285,945,078	543.00	261,888,900	1.02

種類別及び業種別投資比率

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		99.79

合計	99.79
----	-------

<ご参考>

「小型ブルーチップオープン マザーファンド」

種類	業種	投資比率(%)
株式	鉱業	0.61
	食料品	0.29
	繊維製品	0.30
	パルプ・紙	2.63
	化学	11.57
	石油・石炭製品	1.18
	ガラス・土石製品	2.62
	鉄鋼	6.94
	非鉄金属	11.13
	金属製品	2.61
	機械	3.02
	電気機器	15.38
	輸送用機器	4.20
	その他製品	1.96
	電気・ガス業	6.41
	陸運業	0.87
	海運業	0.55
	空運業	0.05
	倉庫・運輸関連業	0.30
	情報・通信業	1.87
	卸売業	5.83
	小売業	1.81
	銀行業	2.54
保険業	5.57	
不動産業	7.09	
サービス業	0.89	
	小計	98.35
合計		98.35

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3)運用実績
純資産の推移

平成24年2月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第12期 (2002年7月30日)	78,625	78,869	0.4818	0.4833
第13期 (2003年1月30日)	59,819	59,819	0.3938	0.3938
第14期 (2003年7月30日)	61,091	61,299	0.4386	0.4401
第15期 (2004年1月30日)	63,608	63,608	0.5125	0.5125
第16期 (2004年7月30日)	67,799	67,799	0.6106	0.6106
第17期 (2005年1月31日)	61,944	61,944	0.6231	0.6231
第18期 (2005年8月1日)	61,031	61,031	0.7099	0.7099
第19期 (2006年1月30日)	77,886	77,886	0.9711	0.9711
第20期 (2006年7月31日)	63,048	63,048	0.8662	0.8662
第21期 (2007年1月30日)	65,137	65,137	0.9189	0.9189
第22期 (2007年7月30日)	50,273	50,273	0.8874	0.8874
第23期 (2008年1月30日)	34,181	34,181	0.6648	0.6648
第24期 (2008年7月30日)	30,086	30,086	0.6285	0.6285
第25期 (2009年1月30日)	17,831	17,831	0.3909	0.3909
第26期 (2009年7月30日)	21,322	21,322	0.5177	0.5177
第27期 (2010年2月1日)	18,633	18,633	0.5003	0.5003
第28期 (2010年7月30日)	16,465	16,465	0.4936	0.4936
第29期 (2011年1月31日)	16,303	16,303	0.5366	0.5366
第30期 (2011年8月1日)	14,730	14,730	0.5246	0.5246
第31期 (2012年1月30日)	12,546	12,546	0.4816	0.4816
2011年2月末日	16,965		0.5657	
3月末日	15,927		0.5356	
4月末日	15,381		0.5239	
5月末日	14,904		0.5132	
6月末日	14,930		0.5235	
7月末日	14,554		0.5180	
8月末日	13,439		0.4851	
9月末日	13,484		0.4922	
10月末日	13,062		0.4830	
11月末日	12,424		0.4650	
12月末日	12,161		0.4615	
2012年1月末日	12,531		0.4816	
2月末日	13,860		0.5393	

分配の推移

期	1口当たりの分配金
第12期	0.0015 円
第13期	0.0000 円
第14期	0.0015 円
第15期	0.0000 円
第16期	0.0000 円
第17期	0.0000 円
第18期	0.0000 円
第19期	0.0000 円
第20期	0.0000 円
第21期	0.0000 円
第22期	0.0000 円
第23期	0.0000 円
第24期	0.0000 円
第25期	0.0000 円
第26期	0.0000 円
第27期	0.0000 円
第28期	0.0000 円
第29期	0.0000 円
第30期	0.0000 円
第31期	0.0000 円

収益率の推移

期	収益率
第12期	5.9 %
第13期	18.3 %
第14期	11.8 %
第15期	16.8 %
第16期	19.1 %
第17期	2.0 %
第18期	13.9 %
第19期	36.8 %
第20期	10.8 %
第21期	6.1 %
第22期	3.4 %
第23期	25.1 %
第24期	5.5 %
第25期	37.8 %
第26期	32.4 %
第27期	3.4 %
第28期	1.3 %
第29期	8.7 %
第30期	2.2 %
第31期	8.2 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配前の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

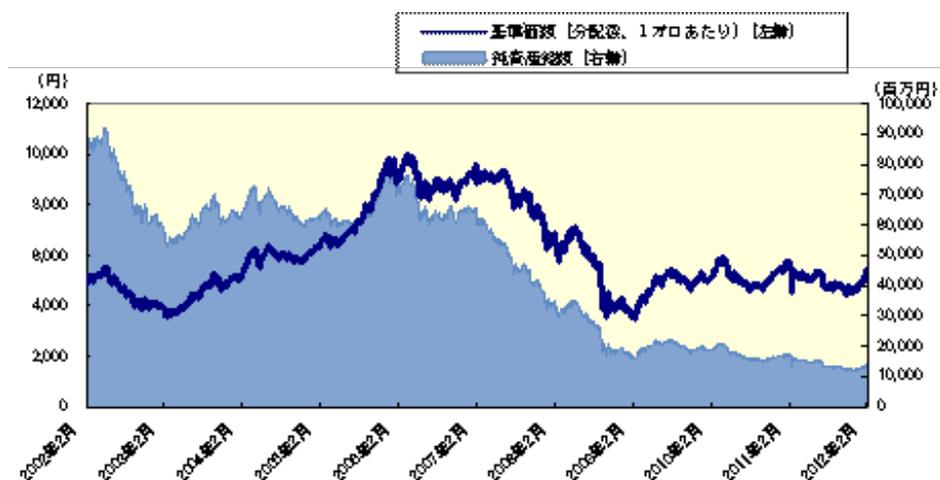
(4) 設定及び解約の実績

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第12期	4,386,316,864	13,704,011,110	163,189,254,170
第13期	3,185,250,528	14,484,159,180	151,890,345,518
第14期	1,877,425,481	14,481,849,723	139,285,921,276
第15期	1,904,421,067	17,065,149,908	124,125,192,435
第16期	1,858,186,723	14,942,240,707	111,041,138,451
第17期	923,239,339	12,549,961,411	99,414,416,379
第18期	1,518,913,045	14,962,010,852	85,971,318,572
第19期	7,934,087,921	13,703,137,271	80,202,269,222
第20期	2,525,268,397	9,939,121,460	72,788,416,159
第21期	7,745,744,027	9,648,717,050	70,885,443,136
第22期	877,665,494	15,108,489,767	56,654,618,863
第23期	597,720,745	5,837,353,298	51,414,986,310
第24期	379,590,323	3,926,525,537	47,868,051,096
第25期	233,651,431	2,487,737,907	45,613,964,620
第26期	327,571,351	4,758,492,389	41,183,043,582
第27期	191,374,371	4,127,444,787	37,246,973,166
第28期	337,677,863	4,225,033,963	33,359,617,066
第29期	124,314,349	3,103,143,411	30,380,788,004
第30期	119,439,453	2,422,276,014	28,077,951,443
第31期	119,709,329	2,145,578,718	26,052,082,054

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

< 参考情報 > 運用実績（2012年2月29日現在）

[基準価額・純資産の推移]（日次）



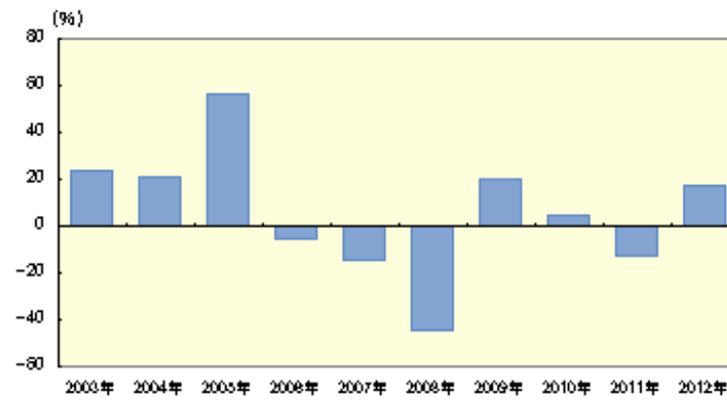
[分配の推移]（1万口あたり、課税前）

2012年1月	0 円
2011年8月	0 円
2011年1月	0 円
2010年7月	0 円
2010年2月	0 円
設定来累計	6,860 円

[主要な資産の状況]

実質的な銘柄別投資比率(上位)				実質的な業種別投資比率(上位)		
順位	銘柄	業種	投資比率 (%)	順位	業種	投資比率 (%)
1	T&Dホールディングス	保険業	2.9	1	電気機器	15.3
2	NKSJホールディングス	保険業	2.7	2	化学	11.5
3	三菱マテリアル	非鉄金属	2.5	3	非鉄金属	11.1
4	住友化学	化学	2.5	4	不動産業	7.1
5	スタンレー電気	電気機器	2.4	5	鉄鋼	6.9
6	東京建物	不動産業	2.3			
7	アルプス電気	電気機器	2.2			
8	三井金属鉱業	非鉄金属	2.2			
9	DIC	化学	2.2			
10	北海道電力	電気・ガス業	2.1			

[年間収益率の推移] (暦年ベース)



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・2012年は年初から運用実績作成基準日までのファンドの収益率。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

1 財務諸表

原届出書の 第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

小型ブルーチップオープン

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第31期計算期間(平成23年8月 2 日から平成24年1月30日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1財務諸表

小型ブルーチップオープン

(1)貸借対照表

期別	第30期 平成23年8月1日現在	第31期 平成24年1月30日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	171,478,338	138,129,593
親投資信託受益証券	14,697,128,005	12,544,042,047
未収利息	425	351
流動資産合計	14,868,606,768	12,682,171,991
資産合計	14,868,606,768	12,682,171,991
負債の部		
流動負債		
未払解約金	15,067,875	33,615,311
未払受託者報酬	8,086,986	6,715,794
未払委託者報酬	114,835,081	95,364,152
その他未払費用	242,550	201,411
流動負債合計	138,232,492	135,896,668
負債合計	138,232,492	135,896,668
純資産の部		
元本等		
元本	28,077,951,443	26,052,082,054
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	13,347,577,167	13,505,806,731
(分配準備積立金)	3,835,339,005	3,564,380,282
元本等合計	14,730,374,276	12,546,275,323
純資産合計	14,730,374,276	12,546,275,323
負債純資産合計	14,868,606,768	12,682,171,991

(2)損益及び剰余金計算書

科目	期別	第30期	第31期
		自 平成23年2月1日 至 平成23年8月1日	自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日
		金額(円)	金額(円)
営業収益			
受取利息		55,162	43,728
有価証券売買等損益		243,388,536	1,126,085,958
営業収益合計		243,333,374	1,126,042,230
営業費用			
受託者報酬		8,086,986	6,715,794
委託者報酬		114,835,081	95,364,152
その他費用		242,550	201,411
営業費用合計		123,164,617	102,281,357
営業利益		366,497,991	1,228,323,587
経常利益		366,497,991	1,228,323,587
当期純利益		366,497,991	1,228,323,587
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額		24,588,645	107,449,733
期首剰余金又は期首欠損金()		14,077,635,393	13,347,577,167
剰余金増加額又は欠損金減少額		1,128,195,003	1,024,878,184
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		1,128,195,003	1,024,878,184
剰余金減少額又は欠損金増加額		56,227,431	62,233,894
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		56,227,431	62,233,894
分配金			
期末剰余金又は期末欠損金()		13,347,577,167	13,505,806,731

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は前期末が休日のため、平成23年8月2日から平成24年1月30日までとなっております。

(追加情報)

第31期
自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日
当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(貸借対照表に関する注記)

第30期 平成23年8月1日現在	第31期 平成24年1月30日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 28,077,951,443 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 26,052,082,054 口
2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 13,347,577,167 円	2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 13,505,806,731 円
3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.5246 円 (10,000口当たり純資産額 5,246 円)	3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.4816 円 (10,000口当たり純資産額 4,816 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第30期 自平成23年2月1日 至平成23年8月1日	第31期 自平成23年8月2日 至平成24年1月30日
1 分配金の計算過程 該当事項はございません。	1 分配金の計算過程 該当事項はございません。

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第30期 自平成23年2月1日 至平成23年8月1日	第31期 自平成23年8月2日 至平成24年1月30日
1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1 金融商品に対する取組方針 同左
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左
3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	3 金融商品に係るリスク管理体制 同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第30期 平成23年8月1日現在	第31期 平成24年1月30日現在
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左
2 時価の算定方法 親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2 時価の算定方法 同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第30期 自 平成23年2月1日 至 平成23年8月1日	第31期 自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

第30期 自 平成23年2月1日 至 平成23年8月1日	第31期 自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日
期首元本額 30,380,788,004 円	期首元本額 28,077,951,443 円
期中追加設定元本額 119,439,453 円	期中追加設定元本額 119,709,329 円
期中一部解約元本額 2,422,276,014 円	期中一部解約元本額 2,145,578,718 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第30期 自 平成23年2月1日 至 平成23年8月1日	第31期 自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	221,412,709	1,016,672,841
合計	221,412,709	1,016,672,841

3 デリバティブ取引関係

第30期(平成23年8月1日現在)

該当事項はございません。

第31期(平成24年1月30日現在)

該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成24年1月30日現在)
該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券 (平成24年1月30日現在)

種類	銘柄	券面総額(円)	評価額(円)	備考
親投資信託受益証券	小型ブルーチップオープン マザーファンド		12,544,042,047	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		12,544,042,047	
	組入時価比率：100.0%		100%	
合計			12,544,042,047	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

参考

当ファンドは「小型ブルーチップオープン マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。
尚、同親投資信託の状況は次の通りです。

- 1 「小型ブルーチップオープン マザーファンド」の状況
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

(1)貸借対照表

対象年月日	平成24年1月30日現在
科目	金額(円)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	791,119,211
株式	21,833,424,360
未収入金	833,454,951
未収配当金	24,213,600
未収利息	2,011
流動資産合計	23,482,214,133
資産合計	23,482,214,133
負債の部	
流動負債	
未払金	380,494,254
流動負債合計	380,494,254
負債合計	380,494,254
純資産の部	
元本等	
元本	23,374,418,778
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金()	272,698,899
元本等合計	23,101,719,879
純資産合計	23,101,719,879
負債純資産合計	23,482,214,133

(2)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(追加情報)

自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日
当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(貸借対照表に関する注記)

平成24年1月30日現在	
1 元本の欠損の額	272,698,899 円
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	0.9883 円
(10,000口当たり純資産額)	9,883 円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 平成23年8月 2 日 至 平成24年1月30日	
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(3)附属明細表に記載しております。これらは、株価変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

平成24年1月30日現在	
1 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2 時価の算定方法	株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(その他の注記)

平成24年1月30日現在	
1 元本の移動及び期末元本額の内訳	
期首	平成23年8月 2 日
期首元本額	24,698,202,894 円
期首より平成24年1月30日までの期中追加設定元本額	86,308,127 円
期首より平成24年1月30日までの期中一部解約元本額	1,410,092,243 円
期末元本額	23,374,418,778 円
期末元本額の内訳*	
小型ブルーチップオープン	12,692,544,822 円
小型ブルーチップオープンVA(適格機関投資家専用)	10,681,873,956 円

*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(平成24年1月30日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額(円)		備考
			単価	金額	
日本円	石油資源開発	78,200	3,375.00	263,925,000	
	鹿島建設	50,000	257.00	12,850,000	
	S Foods	120,000	707.00	84,840,000	
	サッポロホールディングス	817,000	297.00	242,649,000	
	J - オイルミルズ	526,000	222.00	116,772,000	
	帝人	50,000	251.00	12,550,000	
	王子製紙	181,000	386.00	69,866,000	
	ニッポン高度紙工業	19,800	1,630.00	32,274,000	
	日本製紙グループ本社	140,900	1,611.00	226,989,900	
	レンゴー	120,000	544.00	65,280,000	
	クラレ	291,000	1,116.00	324,756,000	
	旭化成	276,000	488.00	134,688,000	
	昭和電工	1,997,000	164.00	327,508,000	
	住友化学	1,796,000	309.00	554,964,000	
	日産化学工業	96,000	760.00	72,960,000	
	大陽日酸	23,000	527.00	12,121,000	
	J S R	126,700	1,563.00	198,032,100	
	三菱ケミカルホールディングス	178,500	436.00	77,826,000	
	ダイセル	343,000	492.00	168,756,000	
	宇部興産	51,000	220.00	11,220,000	
	ミライアル	69,200	1,094.00	75,704,800	
	藤倉化成	434,600	391.00	169,928,600	
	D I C	3,380,000	145.00	490,100,000	
	T & K TOKA	83,900	928.00	77,859,200	
	上村工業	25,300	2,999.00	75,874,700	
	荒川化学工業	167,200	686.00	114,699,200	
	クミアイ化学工業	19,000	320.00	6,080,000	
	日東電工	4,200	2,772.00	11,642,400	
	レック	10,000	1,129.00	11,290,000	
	天馬	109,800	690.00	75,762,000	
	コスモ石油	331,000	224.00	74,144,000	
	ユシロ化学工業	13,000	848.00	11,024,000	
	A O C ホールディングス	482,300	524.00	252,725,200	

	旭硝子	104,000	628.00	65,312,000	
	日本板硝子	375,000	156.00	58,500,000	
	日本電気硝子	94,000	670.00	62,980,000	
	オハラ	222,400	805.00	179,032,000	
	S E Cカーボン	203,000	270.00	54,810,000	
	日本碍子	13,000	947.00	12,311,000	
	フジミインコーポレー テッド	74,500	1,035.00	77,107,500	
	住友金属工業	814,000	138.00	112,332,000	
	神戸製鋼所	647,000	129.00	83,463,000	
	日新製鋼	1,000,000	122.00	122,000,000	
	ジェイ エフ イー ホール ディングス	102,000	1,397.00	142,494,000	
	大和工業	125,000	2,397.00	299,625,000	
	東京鐵鋼	545,000	267.00	145,515,000	
	大阪製鐵	84,100	1,417.00	119,169,700	
	東洋鋼鋳	369,000	288.00	106,272,000	
	住友鋼管	107,000	650.00	69,550,000	
	日本電工	186,000	373.00	69,378,000	

通貨	銘柄	株式数	評価額(円)		備考
			単価	金額	
日本円	三井金属鉱業	2,318,000	211.00	489,098,000	
	三菱マテリアル	2,440,000	241.00	588,040,000	
	住友金属鉱山	237,000	1,121.00	265,677,000	
	DOWAホールディングス	167,000	511.00	85,337,000	
	住友軽金属工業	3,205,000	78.00	249,990,000	
	古河電気工業	720,000	201.00	144,720,000	
	住友電気工業	304,400	896.00	272,742,400	
	フジクラ	100,000	237.00	23,700,000	
	日立電線	647,000	175.00	113,225,000	
	アーレスティ	152,800	387.00	59,133,600	
	横河ブリッジホールディングス	241,000	553.00	133,273,000	
	三和ホールディングス	475,000	248.00	117,800,000	
	住生活グループ	6,600	1,570.00	10,362,000	
	パイオラックス	44,700	1,809.00	80,862,300	
	三益半導体工業	163,400	705.00	115,197,000	
	オークマ	22,000	546.00	12,012,000	
	牧野フライス製作所	23,000	537.00	12,351,000	
	旭ダイヤモンド工業	12,000	976.00	11,712,000	
	ディスコ	2,900	4,010.00	11,629,000	
	S M C	5,600	13,210.00	73,976,000	
	住友重機械工業	331,000	489.00	161,859,000	
	T O W A	255,000	421.00	107,355,000	
	アイチ コーポレーション	170,500	345.00	58,822,500	
	荏原製作所	244,000	296.00	72,224,000	
	ダイキン工業	5,700	2,197.00	12,522,900	
	シーケーディ	126,800	576.00	73,036,800	
	日本トムソン	154,000	454.00	69,916,000	
	T H K	43,800	1,610.00	70,518,000	
	日鍛バルブ	20,500	285.00	5,842,500	
	マキタ	28,300	2,873.00	81,305,900	
	イビデン	7,400	1,541.00	11,403,400	
	コニカミノルタホールディングス	326,500	569.00	185,778,500	
	ミネベア	795,000	336.00	267,120,000	
	日本電産	24,000	7,130.00	171,120,000	
	J V C ケンウッド	211,900	310.00	65,689,000	
	第一精工	30,300	2,304.00	69,811,200	
	オムロン	7,300	1,525.00	11,132,500	
	日本電気	712,000	154.00	109,648,000	
	アルバック	12,700	1,034.00	13,131,800	
	T D K	91,200	3,685.00	336,072,000	
	アルプス電気	433,500	572.00	247,962,000	
	メイコー	99,300	975.00	96,817,500	
フォスター電機	124,800	997.00	124,425,600		
アオイ電子	21,400	1,048.00	22,427,200		
エスベック	120,800	534.00	64,507,200		
フェローテック	15,300	790.00	12,087,000		

	北川工業	18,600	810.00	15,066,000	
	スタンレー電気	439,700	1,231.00	541,270,700	
	ウシオ電機	58,700	1,110.00	65,157,000	
	日本デジタル研究所	142,800	798.00	113,954,400	
	函研	293,400	582.00	170,758,800	
	カシオ計算機	552,100	457.00	252,309,700	
	日本シイエムケイ	441,100	266.00	117,332,600	
	新光電気工業	200,400	550.00	110,220,000	
	太陽誘電	374,900	680.00	254,932,000	
	日本ケミコン	47,000	264.00	12,408,000	
	リコー	658,000	645.00	424,410,000	
	川崎重工業	897,000	216.00	193,752,000	
	いすゞ自動車	306,000	386.00	118,116,000	
	タチエス	48,500	1,474.00	71,489,000	
	アイシン精機	5,000	2,424.00	12,120,000	
	ショーワ	302,900	499.00	151,147,100	
	豊田合成	9,200	1,237.00	11,380,400	
	日本精機	295,000	899.00	265,205,000	
	シチズンホールディングス	184,800	468.00	86,486,400	
	凸版印刷	141,000	593.00	83,613,000	
	大日本印刷	150,000	798.00	119,700,000	
	イトーキ	364,700	182.00	66,375,400	
	中国電力	170,000	1,423.00	241,910,000	
	北陸電力	133,400	1,493.00	199,166,200	

通貨	銘柄	株式数	評価額(円)		備考
			単価	金額	
日本円	東北電力	100,500	750.00	75,375,000	
	九州電力	99,300	1,143.00	113,499,900	
	北海道電力	240,500	1,118.00	268,879,000	
	電源開発	82,700	2,059.00	170,279,300	
	大阪瓦斯	39,000	310.00	12,090,000	
	ハマキョウレックス	89,400	2,328.00	208,123,200	
	日本通運	41,000	307.00	12,587,000	
	日本郵船	317,000	191.00	60,547,000	
	商船三井	179,000	285.00	51,015,000	
	日新	361,000	219.00	79,059,000	
	オービック	4,810	14,960.00	71,957,600	
	ヤフー	2,814	23,030.00	64,806,420	
	エヌ・ティ・ティ・データ	1,273	246,300.00	313,539,900	
	NSD	362,000	609.00	220,458,000	
	小野建	262,900	646.00	169,833,400	
	伯東	150,600	777.00	117,016,200	
	丸紅	393,000	526.00	206,718,000	
	豊田通商	54,900	1,435.00	78,781,500	
	新光商事	302,100	632.00	190,927,200	
	Paltac	12,700	999.00	12,687,300	
	住金物産	335,000	217.00	72,695,000	
	ニッセンホールディングス	30,000	353.00	10,590,000	
	イオン	66,100	1,015.00	67,091,500	
	ATグループ	30,000	960.00	28,800,000	
	ヤマダ電機	13,840	4,905.00	67,885,200	
	ベルク	64,500	1,226.00	79,077,000	
	ファーストリテイリング	17,400	15,000.00	261,000,000	
	りそなホールディングス	1,065,700	341.00	363,403,700	
	第四銀行	281,000	254.00	71,374,000	
	西日本シティ銀行	293,000	221.00	64,753,000	
	横浜銀行	194,000	355.00	68,870,000	
	武蔵野銀行	26,300	2,576.00	67,748,800	
	山梨中央銀行	220,000	340.00	74,800,000	
	山陰合同銀行	216,000	579.00	125,064,000	
	琉球銀行	72,700	1,002.00	72,845,400	
	山口フィナンシャルグループ	96,000	723.00	69,408,000	
	京葉銀行	35,000	376.00	13,160,000	
	東洋証券	618,000	113.00	69,834,000	
	極東証券	27,700	500.00	13,850,000	
	NKSJホールディングス	240,800	1,622.00	390,577,600	
	T&Dホールディングス	772,600	784.00	605,718,400	
	一建設	41,100	1,558.00	64,033,800	
東京建物	1,751,000	273.00	478,023,000		
ダイビル	247,500	513.00	126,967,500		
京阪神ビルディング	69,400	363.00	25,192,200		

	住友不動産	8,000	1,452.00	11,616,000	
	空港施設	357,900	348.00	124,549,200	
	ゴールドクレスト	81,080	1,270.00	102,971,600	
	イオンモール	40,200	1,695.00	68,139,000	
	エヌ・ティ・ティ都市開発	2,050	56,700.00	116,235,000	
	ケネディクス	1,161	10,340.00	12,004,740	
	西尾レントオール	325,000	632.00	205,400,000	
	ダイセキ	9,000	1,378.00	12,402,000	
計	銘柄数：173			21,833,424,360	
	組入時価比率：94.5%			100%	
合計				21,833,424,360	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

(2) 株式以外の有価証券(平成24年1月30日現在)
該当事項はございません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

2 ファンドの現況

原届出書の 第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

純資産額計算書

平成24年2月29日現在

資産総額	13,882,556,208	円
負債総額	21,938,827	円
純資産総額(-)	13,860,617,381	円
発行済口数	25,700,638,338	口
1口当たり純資産額(/)	0.5393	円

<ご参考>

「小型ブルーチップオープン マザーファンド」

資産総額	26,336,203,865	円
負債総額	701,441,417	円
純資産総額(-)	25,634,762,448	円
発行済口数	23,128,682,051	口
1口当たり純資産額(/)	1.1084	円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1) 資本金の額

平成23年9月末現在、17,180百万円

(以下略)

<訂正後>

(1) 資本金の額

平成24年3月末現在、17,180百万円

(以下略)

2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の 第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業委託者の運用する証券投資信託は平成24年2月29日現在次の通りです（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	765	10,291,276
単位型株式投資信託	38	251,671
追加型公社債投資信託	18	4,681,574
単位型公社債投資信託	0	0
合計	821	15,224,522

3 委託会社等の経理状況

[次へ](#)

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
株式会社りそな銀行 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	279,928百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

* 平成23年8月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
-------	-----------------------	----------

野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	47,937百万円	
マネックス証券株式会社	7,425百万円	
SMBCフレンド証券株式会社	27,270百万円	
荘内証券株式会社	100百万円	
高木証券株式会社	11,069百万円	
ちばぎん証券株式会社	4,374百万円	
東海東京証券株式会社	6,000百万円	
かざか証券株式会社	3,000百万円	
浜銀TT証券株式会社	3,307百万円	
丸三証券株式会社	10,000百万円	
丸福証券株式会社	852百万円	
水戸証券株式会社	12,272百万円	
野村信託銀行株式会社	30,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

* 平成23年8月末現在

<訂正後>

(1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額*	(c)事業の内容
株式会社りそな銀行 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	279,928百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

* 平成24年2月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額*	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	47,937百万円	
マネックス証券株式会社	7,425百万円	
SMBCフレンド証券株式会社	27,270百万円	
荘内証券株式会社	100百万円	
高木証券株式会社	11,069百万円	
ちばぎん証券株式会社	4,374百万円	
東海東京証券株式会社	6,000百万円	
かざか証券株式会社	3,000百万円	
浜銀TT証券株式会社	3,307百万円	
丸三証券株式会社	10,000百万円	
丸福証券株式会社	852百万円	
水戸証券株式会社	12,272百万円	
野村信託銀行株式会社	30,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

* 平成24年2月末現在

原届出書の 第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況 の該当部分を以下のように訂正するとともに、末尾に添付のように、最近中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）の中間財務諸表（以下「中間財務諸表」といいます。）が追加されます。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

なお、財務諸表等規則は、平成21年3月24日付内閣府令第5号により改正されておりますが、第51期事業年度(前事業年度)は、内閣府令第5号改正前の財務諸表等規則に基づき作成しており、第52期事業年度(当事業年度)は、内閣府令第5号改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2. 財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3. 委託会社の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前事業年度及び当事業年度の財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

<訂正後>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

なお、財務諸表等規則は、平成21年3月24日付内閣府令第5号により改正されておりますが、第51期事業年度(前事業年度)は改正前、第52期事業年度(当事業年度)は改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

委託会社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

2. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3. 委託会社の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前事業年度及び当事業年度の財務諸表ならびに当中間会計期間の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

		平成23年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		498
金銭の信託		39,466
有価証券		1,600
短期貸付金		168
未収委託者報酬		8,212
未収収益		4,942
繰延税金資産		853
その他		313
貸倒引当金		6
流動資産計		56,049
固定資産		
有形固定資産	1	1,687
無形固定資産		10,049
ソフトウェア		10,047
その他		1
投資その他の資産		22,390
投資有価証券		6,685
関係会社株式		14,424
繰延税金資産		886
その他		393
貸倒引当金		0
固定資産計		34,127
資産合計		90,176

		平成23年 9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(負債の部)		
流動負債		
関係会社短期借入金		5,000
未払収益分配金		4
未払償還金		53
未払手数料		3,570
その他未払金	2	1,323
未払費用		7,194
未払法人税等		723
賞与引当金		1,463
その他		99
流動負債計		19,431
固定負債		
退職給付引当金		3,251
時効後支払損引当金		491
その他		5
固定負債計		3,747
負債合計		23,179
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		65,310
資本剰余金		17,180
資本剰余金		11,729
資本準備金		11,729
利益剰余金		36,400
利益準備金		685
その他利益剰余金		35,715
別途積立金		24,606
繰越利益剰余金		11,108
評価・換算差額等		1,686
その他有価証券評価差額金		1,568
繰延ヘッジ損益		117
純資産合計		66,996
負債・純資産合計		90,176

中間損益計算書

		自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		41,975
運用受託報酬		9,087
その他営業収益		67
営業収益計		51,131
営業費用		
支払手数料		21,876
調査費		10,328
その他営業費用		2,150
営業費用計		34,356
一般管理費	1	11,623
営業利益		5,151
営業外収益	2	3,261
営業外費用	3	333
経常利益		8,079
特別利益	4	123
特別損失	5	69
税引前中間純利益		8,133
法人税、住民税及び事業税		1,605
法人税等調整額		1,229
中間純利益		5,298

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間

（単位：百万円）

	自 平成23年 4月 1日
	至 平成23年 9月30日
株主資本	
資本金	
当期首残高	17,180
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	17,180
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	11,729
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,729
資本剰余金合計	
当期首残高	11,729
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,729
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	685
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	685
その他利益剰余金	
別途積立金	
当期首残高	24,606
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	24,606
繰越利益剰余金	
当期首残高	14,077
当中間期変動額	
剰余金の配当	8,267
中間純利益	5,298
当中間期変動額合計	2,968
当中間期末残高	11,108
利益剰余金合計	
当期首残高	39,369

当中間期変動額	
剰余金の配当	8,267
中間純利益	5,298
当中間期変動額合計	2,968
当中間期末残高	36,400
株主資本合計	
当期首残高	68,279
当中間期変動額	
剰余金の配当	8,267
中間純利益	5,298
当中間期変動額合計	2,968
当中間期末残高	65,310
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	2,694
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	1,125
当中間期変動額合計	1,125
当中間期末残高	1,568
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	69
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	187
当中間期変動額合計	187
当中間期末残高	117
評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,624
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	938
当中間期変動額合計	938
当中間期末残高	1,686
純資産合計	
当期首残高	70,903
当中間期変動額	
剰余金の配当	8,267
中間純利益	5,298
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	938
当中間期変動額合計	3,906
当中間期末残高	66,996

[重要な会計方針]

1 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>子会社株式及び関連会社株式... 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの... 中間決算日の市場価格等に基づく時価法 （評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております） 時価のないもの... 移動平均法による原価法</p>
2 デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	時価法
3 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
4 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p>
5 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>
6 リース取引の処理方法	リース取引開始日が平成20年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで資産または負債として繰り延べる方法によっております。 また、為替予約が付されている外貨建金銭債権については、振当処理を行っております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 - 為替予約 ヘッジ対象 - 投資有価証券、短期貸付金</p> <p>(3) ヘッジ方針 投資有価証券及び短期貸付金に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 為替変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。</p>
8 消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。
9 連結納税制度の適用	連結納税制度を適用しております。

[追加情報]

	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日
会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用	当中間会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

[注記事項]

中間貸借対照表関係

平成23年 9月30日現在	
1 有形固定資産の減価償却累計額	2,541百万円
2 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他未払金」に含めて表示しております。	

中間損益計算書関係

自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	232百万円
無形固定資産	1,864百万円
長期前払費用	5百万円
2 営業外収益のうち主要なもの	
受取配当金	2,987百万円
3 営業外費用のうち主要なもの	
支払利息	30百万円
金銭の信託運用損	276百万円
4 特別利益の内訳	
投資有価証券等売却益	34百万円
株式報酬受入益	88百万円
5 特別損失の内訳	
投資有価証券売却損	26百万円
投資有価証券等評価損	0百万円
固定資産除却損	42百万円

中間株主資本等変動計算書関係

自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日				
1 発行済株式に関する事項				
	株式の種類	当事業年度期首	増加	減少
	普通株式	5,150,693株	-	-
				当中間会計期間末
				5,150,693株
2 配当に関する事項				
配当金支払額				
平成23年 7月11日開催の臨時株主総会において、次のとおり決議しております。				
・普通株式の配当に関する事項				
(1) 配当財産の種類	野村ホールディングス株式会社株式			
(2) 配当財産の帳簿価額		8,267百万円		
(3) 1株当たり配当額		1,605円12銭		
(4) 基準日		平成23年 7月19日		
(5) 効力発生日		平成23年 7月20日		

リース取引関係

自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日	
1 ファイナンス・リース取引	
(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの) 該当事項はありません。	
(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	
有形固定資産（器具備品）	
取得価額相当額	361百万円
減価償却累計額相当額	310
中間期末残高相当額	50
未経過リース料中間期末残高相当額	
1年内	47百万円
1年超	6
合計	53
支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額	
支払リース料	43百万円
減価償却費相当額	40
支払利息相当額	1
減価償却費相当額の算定方法	
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。	
利息相当額の算定方法	
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。	
2 オペレーティング・リース取引	
未経過リース料	
1年内	6百万円
1年超	5
合計	12

金融商品関係

当中間会計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

平成23年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	498	498	-
(2)金銭の信託	39,466	39,466	-
(3)短期貸付金	168	168	-
(4)未収委託者報酬	8,212	8,212	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	7,544	7,544	-
(6)関係会社株式	3,064	77,011	73,947
資産計	58,954	132,902	73,947
(7)関係会社短期借入金	5,000	5,000	-
(8)未払金	4,952	4,952	-
未払収益分配金	4	4	-
未払償還金	53	53	-
未払手数料	3,570	3,570	-
その他未払金	1,323	1,323	-
(9)未払費用	7,194	7,194	-
(10)未払法人税等	723	723	-
負債計	17,869	17,869	-
(11)デリバティブ取引（*）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	-	-	-
ヘッジ会計が適用されているもの	5	5	-
デリバティブ取引計	5	5	-

（*）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金・預金、(3)短期貸付金、(4)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。ただし、短期貸付金は為替予約等の振当処理の対象とされており、円貨建債権とみて当該帳簿価額を以って時価としております。「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価格、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(7) 関係会社短期借入金、(8) 未払金、(9) 未払費用、(10) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(11) デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

注2：非上場株式（中間貸借対照表計上額：投資有価証券740百万円、関係会社株式11,360百万円）は、市場価格がなく、かつキャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

有価証券関係

当中間会計期間末（平成23年9月30日）

1. 満期保有目的の債券(平成23年9月30日)

該当事項はありません。

2. 子会社株式及び関連会社株式(平成23年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	77,011	73,947
合計	3,064	77,011	73,947

3. その他有価証券(平成23年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの			
株式	3,356	282	3,073
投資信託	-	-	-
小計	3,356	282	3,073
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託(1)	2,587	3,003	415
譲渡性預金	1,600	1,600	-
小計	4,187	4,603	415
合計	7,544	4,885	2,658

- (1) 当中間会計期間において、投資有価証券に係る為替変動リスクをヘッジするための為替予約取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は117百万円（税効果会計適用後）であり、中間貸借対照表に計上しております。

デリバティブ取引関係

当中間会計期間（自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日）

1．ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

2．ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

（1）通貨関連

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	為替予約取引	投資信託	2,575	-	5	先物為替相場によっている
為替予約等の振当処理	為替予約取引	短期貸付金	168	-	(*1) -	-
合 計			2,743	-	(*1) 5	-

(*1) 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている短期貸付金と一体として処理されるため、その時価は当該短期貸付金の時価に含めて記載しております。

セグメント情報等

当中間会計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

1．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2．関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

1 株当たり情報

自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日	
1 株当たり純資産額	13,007円36銭
1 株当たり中間純利益	1,028円70銭
(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益につきましては、新株予約権付社債等潜在株式がないため、記載しておりません。	
2 . 1 株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。	
中間純利益	5,298百万円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益	5,298百万円
期中平均株式数	5,150千株

独立監査人の中間監査報告書

平成23年11月24日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 満雄指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 亀井 純子指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第53期事業年度の中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の監査報告書

平成24年3月19日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 伊藤 志 保
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている小型ブルーチップオープンの平成23年8月2日から平成24年1月30日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、小型ブルーチップオープンの平成24年1月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)